

元気でいられますように 大石田保育園でだんごさし

伝 統行事である「だんごさし」が1月15日(木)に大石田保育園で行われました。

この行事は、五穀豊穡や無病息災などを祈るために、ミズキなどの枝に色とりどりのだんごや飾りつけを行うもので、大石田町でも地区や公民館などで行われています。

当日は、大石田保育園の園児が色とりどりのだんごを枝に飾りつけました。両手に片栗粉をつけながら、全ての枝にだんごを飾りつけると、もっと飾りつけたように空いているところを探していました。

その後、両手を合わせて、病気にならないようにと自分や家族の健康をお祈りしました。



町の課題解決につながる! 山形大学の学生による提案

町 が抱える雪などの問題を解決しようと、山形大学の学生による発表会が1月10日(土)に虹のプラザ「中会議室」で行われました。山形大学とは、平成27年に地方創生に関する連携覚書を締結し、雪の問題や若者の町への定着などをテーマに学生と地域住民との交流事業を行っており、毎年発表会を行っています。

今年と同校の学生たち1、3年生42人が8グループに分かれ、インターネットを使った事前調査や大

石田での現地調査などを経て、町の課題や解決策を考えました。発表会に参加した学生たちは、町の人口減少や雪問題などの諸課題の解決策として「空き家を活用した雪室作り」や「TikTokによる魅力発信」、「スノーフェスティバルによる町の活性化」など様々な解決策を提案していました。

また、午後には国土交通省克雪体制づくりアドバイザーである二藤部久三さんより、除雪の方法等を学ぶ講習会や地域の方々との「冬の大石田」をテーマにした交流会が行われ、学生は楽しんで取り組んでいました。

ようこそ!大石田町へ 踊りでおでむかえ

大 石田駅を訪れたインバウンドのお客様を日本の伝統的な踊りで出迎えようと、2月7日(土)に駅前広場で最上川芭蕉連、大石田民謡研究会などの団体が協力し、それぞれの踊りや演奏を披露しました。この取り組みは、春節の時期に大石田駅を利用される多くのお客様に、もっと賑わいのあるおもてなしをしたいという想いから行われています。

また、虹のまち案内人や商工会女性部によるパンフレットの配付なども行われ、町の魅力をPRしていました。



合言葉は「川をきれいに」 大石田小学校柏倉滯里さんが受賞

最 上川水系水質汚濁対策連絡協議会が毎年実施している、「川をきれいにする児童図画」のポスター部門で、大石田小学校の柏倉滯里さん(1年生)が最高賞である特選に輝きました。

これは、「川をきれいに」の気持ちや関心を高めてもらうことを目的として最上川流域の小学生を対象に行われているもので、令和7年度はポスター部門には、1,122点の応募がありました。

柏倉さんは、「石の色を塗り分けるところが一番頑張りました。とても嬉しいです」と話してくれました。



大石田北小学校が ラジオ体操コンクールで受賞

大 石田北小学校が「小学生ラジオ体操コンクール」で取り組み部門の「ルーキー賞」を受賞しました。

同校では、令和元年から全校生で体力づくりのためにラジオ体操を行い、運動委員会が中心となり教室を回り指導するなど、より良い活動となるように積極的に取り組んできたことが評価され、今回の受賞となりました。

運動委員長の柴崎琉さん(6年生)は、「みんなで工夫しながら取り組んだ活動が認められてとても嬉しく思います」と話してくれました。